

令和5年度 第2回大田圏域地域保健医療対策会議
(大田圏域地域医療構想調整会議全体会議) 議事概要

【日 時】令和5年11月6日(月) 19時00分～21時00分

【開催方法】オンライン開催

【出席者】医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会

訪問看護ステーション協会、歯科衛生士会、介護サービス事業者協議会
大田市まちづくりセンター長幹事会、食生活改善推進協議会
社会福祉協議会、消防本部、市町(委員:19名、オブザーバー:2名)

【議事内容】

1. あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 第8次島根県保健医療計画の策定について
 - (2) 第4期島根県がん対策推進計画、第3次健康長寿しまね推進計画の策定について
3. 報告事項
 - (1) 医療・介護連携部会における協議内容について

【主な意見・協議結果】

1. あいさつ
2. 議 事
 - (1) 第8次島根県保健医療計画の策定について
 - がん
 - ・胃内視鏡検査による胃がん検診を8月から出雲市医師会と協力して実施しており好評。70歳以上も実施した方がよいのではないかと考えている。(大田市医師会)
 - 心筋梗塞
 - ・特定健診受診率向上のため、未受診者への電話、訪問による勧奨を実施。特に前年度未受診者には訪問を実施している。(川本町)
 - 糖尿病
 - ・医科歯科薬科連携について、糖尿病手帳による連携が現状うまくいっていないが工夫しながら活用していく。(大田邑智歯科医師会)
 - ・健康長寿しまねの取組において出前講座の依頼に応じていた。歯周病と糖尿病の関係について等の講座をコロナ禍以前は行っていた。今後また行っていきたい。(大田地区歯科衛生士会)
 - ・食生活改善について、昨年は減塩や肥満について啓発をした。働き盛り世代を対象とした活動が難しい。(川本町食生活改善推進協議会)

○精神疾患

- ・判断能力に問題を抱える方について、権利擁護事業、日常生活自立支援事業 成年後見制度等の支援を行っている。専門医療機関との連携が必要。

(美郷町社会福祉協議会)

- ・認知症疾患医療センターの活動としては、地域移行について社会福祉協議会とも連携し実施しているが、人材不足が課題。キャラバンメイト等への協力について、作業療法士会とも連携し実施している。(石東病院)

○救急医療

- ・年末年始の初期救急体制について医師 1 名増で対応する。人員の問題はないと考えている。(大田市立病院)

- ・令和 5 年 10 月末現在で大田市内の搬送件数のうち 6～7 割が大田市立病院。残りが大学病院、県立中央病院を中心に搬送。ドクヘリ 64 件、ドクターカー 25 件。

(大田市消防)

- ・県央保健所管内からの搬送件数のうち転院搬送以外の件数は、ドクヘリ、ドクターカー含め、大学病院 11 件、県立中央病院 37 件。(江津邑智消防組合)

○災害医療

- ・BCP 策定作業は難しいという意見が多いので、市に協力いただきたい。

(大田市介護サービス事業者協議会)

- ・担当課に伝え対応を検討させていただく。(大田市)

○感染症

- ・コロナとインフルエンザの受診状況について、各医療機関からの発生数を週毎に集計して町に報告している。同時検査キットの不足はないが、インフルエンザ 単独キットは不足している。薬は今のところ問題ないが、薬局ではジェネリックが不足していると聞いている。(邑智郡医師会)

○地域医療

- ・診療所 2ヶ所廃止に伴い、巡回診療に注力している。訪問診療、看護、介護を行っていく上で人材確保が課題。ACP の啓発は重要と考えており、来週住民啓発の場を持つ。(仁寿会加藤病院)

- ・高校生対象の就職ガイダンスを開催し、医療への関心を持ってもらえた。

(看護協会大田支部)

○周産期医療

- ・子ども家庭センター設置のための人材確保について担当課と協議中。(川本町)

○小児医療

- ・邑智病院に相談させてもらったり、地域により市立三次中央病院、安佐市民病院、大田市や出雲市の医療機関に紹介させていただくこともある。(邑智郡医師会)

○在宅医療

- ・各薬局で対応している。市町の中心部は対応できているが、周辺部への対応が課題。
(島根県薬剤師会大田支部)
- ・介護人材不足を訪問看護が対応している部分もある。
(島根県訪問看護ステーション協会大田支部)

○医師確保計画

- ・総合診療医は小児診療や外科処置にも対応できるので、地域医療を行っていく上で重要な存在。今後さらに無医地区が増えると考えられるので、公的医療機関所属の医師数を増やすことで、地域への支援ができると考えている。(公立邑智病院)
- ・周産期医療提供体制について、邑南町周辺の複数の医療機関で産科がなくなった。(広島県内) 集約化により邑智病院の産科がなくなってしまうと若い人が来なくなってしまう。事故防止のためには、過疎地こそベテラン医師による出産体制が必要。(公立邑智病院)
- ・事故防止のためには、産科医の他に小児科医、麻酔科医も必要。県からも大学に対して圏域の産科医確保に向けた働きかけを。(大田市立病院)

(2) 第4期島根県がん対策推進計画、第3次健康長寿しまね推進計画の策定について

○第4期島根県がん対策推進計画の策定について

- ・国が推奨するがん検診の対象となっているがんの中から重点的に取り組むがん種を決定し対策を記載
- ・大田圏域では胃がん、子宮頸がんについて重点的に取り組む
- ・1次予防 たばこ・アルコール対策を中心とした健康づくりの取組の推進
HPV ワクチン接種促進に向けた啓発
- ・2次予防 がん検診推進のため、検診体制や精度管理などの評価検討
大田市の胃内視鏡検診は、事業評価を行いながら管内への波及を目指す
子宮頸がんは、より若い年代からの検診及び精密検査受診率向上の啓発
- ・働き盛り世代への取組を産業保健分野の関係機関と連携して進める

○第3次健康長寿しまね推進計画の策定について

- ・推進の柱1「住民主体の地区ごとの健康づくり活動の促進」
各市町で協議会が設置され、構成団体とともに健康づくり活動が進められている。
- ・推進の柱2「生涯を通じた健康づくりの推進」
各関係機関によるライフステージに応じた取組を推進するとともに、
働き盛り世代に対しては「大田圏域地域職域連携推進協議会」と連携し推進する。
- ・推進の柱3「疾病の早期発見、合併症予防・重症化予防」
健診受診率や保健指導の実施率向上に向けた取組の推進、適切な受診や
治療中断の防止に向けた啓発など、特に働き盛り世代に対する取組を強化する。

- ・ 推進の柱4「多様な実施主体による連携のとれた効果的な運動の促進」
幅広い団体と連携したイベントの開催やマスコミ等との協働等啓発活動の検討。

3. 報告事項

(1) 医療・介護連携部会における協議内容について

- ・ 大田圏域の健康指標の推移や人口構造の変化に伴う医療需要の変化を踏まえた課題等について認識共有。
- ・ 5 疾病 6 事業及び在宅医療、医師確保計画並びに外来医療計画の圏域素案について議論。
- ・ 公立病院経営強化プランについて公立邑智病院から説明。
- ・ 新規開業のこまめクリニックが、地域で不足する外来医療機能を担うことに同意された。4 医療機関から医療機器共同利用計画書の提出。
- ・ 仁寿診療所ながひさ及びそじきの廃止について仁寿会加藤病院から報告。祖式は今後は巡回診療で引き続き医療が提供される。